

『生命現象と現実社会の比較論』のガイドライン (2020/10/09)

授業サイト: <https://tinyurl.com/yy7slzo5> ←極端な話、このサイトに行けば良い授業です

1. スケジュール(全 12 回)

#	Date & Time	Titles
1	2020/10/09	はじめに
2	2020/10/16	進化の原動力
3	2020/10/23	卵から胚へ
4	2020/10/30	5 つの王国
5	2020/11/06	身のまわりの小さな共生者
6	2020/11/13	学術交流大会 2020 活用授業※注 1
7	2020/11/20	学術交流大会 2020 活用授業※注 1
8	2020/11/27	絶対に失敗しないダイエット
9	2020/12/04	花粉症にならないために
10	2020/12/11	休講※注 2
11	2020/12/18	男女の脳の違い
12	2020/12/25	恋愛時の心の動き～恋愛の達人



※注 1 授業自体はありません。黒田が世話人を務める慶應 SFC 学会主催の学術交流大会 2020 を絡めた課題の実施で代替します。

※注 2 黒田は大学の特殊業務担当のため、補講の必要のない休講となります。全員に出席点を与えます。

2. 方式

Zoom や WebEx などでは、全ての学生が等しく、同じ質の講義を享受することは不可能であると判断し、セミオンデマンド方式での授業としました(正直、セミオンデマンドの方が授業準備は大変です)。この方式では授業日にのみ冒頭の授業サイト(<https://tinyurl.com/yy7slzo5>)において講義動画が公開され、授業日のうちに出席報告をすることで出席としてみなされます。動画は m4v 形式です。ダウンロードした上で閲覧して下さい。基本的には 13:00-14:30 が授業の時間帯ですので、その時間帯に視聴して、すかさず出席報告をする形を目指して下さい(出席報告サイトは授業サイトにリンクがあります)。諸事情を鑑み、当日中に報告すれば出席とみなします。深夜 0 時をこえて、翌日となった出席報告はどのような理由があろうと認められません。1 秒でも過ぎた報告は SA さんによってバツサリと切られますので、ご了承下さい。授業当日の流れは、授業時間までに講義動画や資料がアップされますので、授業日のうちに視聴し、出席報告をすることになります。これを毎回、徹底して下さい。

3. Basic Policy

本授業は「生物学の基礎」の授業だと思って下さい。バックグラウンドに高校生物がある/なしを問わず、SFC 生全員が対象となる入門編の授業です。生物学の全てを網羅するわけではありませんが、それを目指します。現在の生物学の軸となる内容、そして皆さんが興味を抱きやすい内容、という視点から 8 のトピックを選びました。時には、既に深く学んでいる人にとっては物足りなく感じることもあるかもしれません。しかし、重要な生物学の内容には現実社会と似たものが存在することが良くあります。できる限り「たとえ」を用いることで、そのような捉え方もあるのだと満足してもらう形を目指します。

4. 教材

講義に関する補足資料は冒頭の授業サイトに格納されている。また、充実した学びのためにも、別途、休み時間の分子生物学(講談社、2020 年 7 月 30 日発売, <https://tinyurl.com/yx8qqgvt>)の購読を強く推奨する。

5. 成績のつけかた

正しく出席報告をした場合に満点となる出席点 8.4 を与える(キーワードの誤りやコメントに問題がある、等の不備がある場合は減点される、期間外の場合は 0 点)。なお、第 1 回と第 10 回は全員に無条件で出席点を与える。合計 100.8 点満点とし、合計の出席点が 90 点以上ならば S、80 点台ならば A、70 点台ならば B、60 点台ならば C、それ未満の場合は D とする。テストは実施しない。